

現實界にありては未だ

アモリヨーズやアマンを持たせ給はざりき
凡ての人事にトランセンデンタルな

大人格者にてありき

君か純潔なる靈身は

最奥第一の靈國ニ天國の善徳に和合し相應す
神を愛し神を理解し神に忠誠なりし君は

その善行必ずや天國に於いて克く美果を結び

イターナルのエンゼルとして

三五の教を守らせ給ふべきを信す

嗚呼君は現實世界にありても

神のため道のために

最も尊貴すべき神人なりき

神界に於ける君は

愛善の意志ニ信眞の智性を發揮し

天女を娶りて圓滿なるホームを作り

且つ善のために活動し玉ふ英姿は

吾眼前正に髣髴として現はれ來りぬ

戀しき君愛する君に對して

別離の悲しみ止め難く

吾が眞情を吐露して

君が神慮に告げまつる

ア、惟神 瞳幸倍坐世。

西村徳次兄の歸幽に就て

瑞

月

ア、君よ

君は現實世界の煩を脱して
神靈界の人となり玉ひぬ

されど君が精靈は

必ずや天國にあつて

地の高天原に遊び

これの教を守らせ玉ふべし

君は熱誠の人にして

又愛信の深き人なりき

ピュリタンの模範として

推賞措く能はざるの人格者

ア、されど現世にては再び君が清姿を見るべからざるを惜む

願はくは君が精靈よ

自然界暗黒海の潮流に

棹をかざして進まんとする

吾が敷船を守りて完全なる

彼岸に到達せしめよ

ア、惟神 瞳幸倍坐世。

得意なる地位に坐しなば其の上の

榮譽望ます沈勇たる可し

吾地位を望める人に與ふるは

必ず後に取る爲となる

吾年を指折り數へ老い行くミ

悔む心は既に死したり

人の世に用し無ければ生命の
無きと等しく寂しきものなる

羈者は皆天下に無理を爲すものミ

覺れば斯の世に争ひも無し

||如意寶珠「午之卷」—終||

大正十二年二月廿五日 印刷

大正十二年二月廿八日 発行
昭和四年六月十日 再版

如意寶珠「午の卷」奥附

定價金壹圓

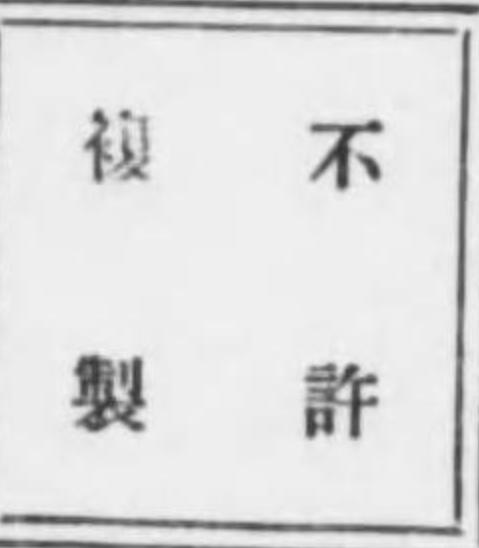
京都府何鹿郡綾部町字上池田二七番地

編輯者 櫻井重雄

京都府何鹿郡綾部町大字神宮寺一番地ノ一

發行者 近藤貞二

京都府何鹿郡綾部町字本宮東四ツ辻十三番地



印 刷 所 兼
天 聲 社
【据替穴版六〇五三四】

終